

地方独立行政法人府中市病院機構
平成28年度業務実績に関する評価

平成29年8月

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

はじめに

本評価委員会は、「地方独立行政法人府中市病院機構の業務実績に関する評価の基準」に基づき、地方独立行政法人府中市病院機構（以下「病院機構」という。）の平成28年度業務実績に関する評価を行った。

評価については、年度計画に定められた事項ごとに行う「項目別評価」と、業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」を行った。項目別評価では、各評価委員において事前に実施した仮評価と病院機構の自己評価を参考に評価委員相互で意見交換を行い、小項目評価及び大項目評価をまとめた。

また、全体評価では、年度計画の達成状況及び平成28年度決算の状況等にも注目して、総合的な評価を行った。

この評価を踏まえ、病院機構におかれては、地域に必要な医療の提供を図るとともに、健全な病院運営の実現に向けて、更なる改善に取り組まれない。

第 1 全体評価

病院機構の平成 28 年度の業務実績については、「年度計画を概ね順調に実施している」と評価できる項目が多いが、地域に必要とされる医療を安定的に提供していく目標に対し、病院が担う役割の確立や医師をはじめとした医療人材の確保・育成という面で取組が遅れており、課題が残っていると云わざるを得ない状況にある。

地域の医療環境を踏まえ、府中北市民病院では平成 28 年 9 月から、府中市民病院では平成 28 年 11 月から一般病床の一部を地域包括ケア病床に転換したこと、また、医師確保等が困難な状況で、両病院での婦人科、小児科の診療体制の維持に加え、府中市民病院では新たに循環器専門の内科常勤医師を確保するなど、診療機能の充実を図ってきたことは評価できるが、高齢化の進展や人口減少など今後の病院を取り巻く環境は厳しい状況が見込まれることから、各病院が目指す姿を、市、病院機構とで早急に検討を行いながら、次期中期目標、中期計画に反映していくとともに、市と病院機構が相互に協力し、地域の医療提供体制の充実に取り組むことを強く望むものである。

また、平成 28 年度決算は赤字決算ではあったが、当初見込まれていた赤字額を大幅に下回る結果であり、病院機構のこれまでの取組の成果が徐々に表れ、平成 30 年度での収支黒字化という目標の達成に向け、着実に進んでいるものと評価する。一方で、過去の評価委員会において常に指摘してきた「市からの繰入に過度に頼らない強靱な経営基盤の構築」については、平成 28 年度においても市から 5,000 万円の追加支援があり、年間 4 億 5,000 万円の繰入額となっているが、結果として追加支援がなくても当初の収支目標は達成可能な状況であったことは、精確な収支シミュレーションの実施など経営管理体制の改善に向けた反省点とされたい。

加えて、目標達成に向け、職員一丸となって病院を運営していく体制の確立が重要であり、平成 28 年度に設置した経営戦略会議の充実、絶えず患者サービス向上に努める意識の醸成、各病院の取組を積極的に情報発信していく広報機能の強化、マネジメントの要となる職員の育成等に向けた取組の推進及び加速化を進められたい。

なお、昨年度の業務実績評価でも病院機構に求めたことではあるが、業務実績報告及び自己評価については、評価の客観性、透明性、病院機構内外への説明責任を果たす観点から、計画との比較や具体的な数値目標の記載を行うなど、更なる改善をされたい。

最後に、地方独立行政法人法の改正により、平成 29 年度業務実績評価から、評価主体が評価委員会から設立団体の長に変わることとなるが、今後も、評価委員会としても病院機構の健全な運営を支援していく思いであることを付記する。

第2 項目別評価

1 大項目評価（集計結果は別紙を参照）

平成28年度年度計画の大項目の評価結果は、S評価からD評価までの5段階で、次のとおりである。

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

小項目評価3・4の割合は86.4%で、概ね9割であるため **B評価**

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

全ての小項目が評価3であるため **A評価**

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

小項目が一つであり、評価3であるため **B評価**

第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

小項目が二つあるがそのどちらも評価3であるため **B評価**

第6 予算、収支計画及び資金計画（平成28年度）

小項目が一つであり、評価3であるため **B評価**

第7 短期借入金の限度額

※ 借入金限度額内での借入実績であるため **評価なし**

第8 重要な財産を譲渡し、または担保に供する計画

※ 計画・実績に該当事項がないため **評価なし**

第9 剰余金の使途

※ 剰余金が発生していないため **評価なし**

参考：大項目評価基準

S：特筆すべき進行状況にある（評価委員会が特に認める場合）

A：年度計画を順調に実施している（小項目評価が、すべて3～4）

B：年度計画を概ね順調に実施している（小項目評価の3～4の割合が概ね90%以上）

C：年度計画がやや遅れている（小項目評価の3～4の割合が概ね90%未満）

D：重大な改善事項がある（評価委員会が特に認める場合）

2 小項目評価

別冊「平成28年度の業務実績に関する評価結果【小項目評価】」を参照

平成28年度の業務実績に関する評価結果 【小項目評価】

平成29年8月
地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を

達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(1) 高齢化に対応した医療

《平成28年度計画》

訪問看護ステーションの充実や、地域包括ケア病床の導入により、高齢者の在宅生活の支援及び在宅生活への復帰に必要な医療を提供します。地域包括ケア病床については、両病院の医療機能や病床利用状況から最適な病床数とし、診療圏域における地域包括ケアシステムの構築にむけた在宅復帰機能の高い病院を指し、今年度、早い時期に導入します。

終末期における在宅医療については、市や府中地区医師会とともに地域包括ケアシステムにおける病院の役割を検討する中で、多職種連携による取り組みを推進します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	4
委員会評価	3	3

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>高齢者の在宅生活の支援及び在宅生活への復帰に必要な医療を提供するため、一般病床(2病棟100床)のうち1病棟50床を地域包括ケア病床に転換しました。</p> <p>転換日 平成28年11月1日</p>	<p>計画どおり、一般病床に地域包括ケア病床を導入したため。</p> <p>府中市民病院は、11月に1病棟50床、府中北市民病院は9月に12床、2月に6床増床し18床を一般病床から転換しました。</p> <p>さらに、10月に府中北市民病院の一般病床の看護師配置基準を、13:1から10:1に上げました。訪問看護ステーションへ看護師1名を増員し、在宅医療を担うスタッフを充実しました。</p>	<p>地域包括ケアシステムにおける病院の役割は、法人の両病院、特に府中北市民病院の将来像に大きく関係するため、市の考える上下地域の将来像との調整を図る必要があります。</p>	
<p>府中北市民病院</p> <p>高齢者の在宅生活の支援及び在宅生活への復帰に必要な医療を提供するため、一般病床60床のうち18床を地域包括ケア病床に転換しました。</p> <p>転換日 平成28年9月1日 12床 平成29年2月11日 6床</p> <p>訪問看護ステーションへ看護師1名を増員しました。</p>			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(2) 予防医療

《平成28年度計画》

市の保健事業と連携し、地域住民に対し人間ドックや健康診査の受診を積極的に呼び掛けるとともに、総合的な予防医療の提供に努めます。市では、健康診査の定着には子どもからの生活習慣病予防の意識づけと、対象者への周知が課題とされているため、地域エリアとして府中市民病院に新設されたセミナー室やレスポランに向け、病院での入院・外来患者へのリハビリや在宅での訪問リハビリを充実します。また、市が行う地域リハビリテーション活動支援事業に連携し、地域住民の健康寿命の延伸の実現に関係機関と共に取り組めます。

健康寿命の延伸実現のために、市と両病院がそれぞれ所有している情報を共有するなど、予防医療への効果的な活用を検討します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	4
委員会評価	3	3

<p>平成28年度の主な取組</p> <p>府中市民病院</p> <p>市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を積極的に実施しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>健診種別</th> <th>受診者数(人)</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック</td> <td></td> <td>319</td> <td>312</td> </tr> <tr> <td>協会健保等</td> <td></td> <td>681</td> <td>1,076</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td></td> <td>256</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td>がん検診</td> <td></td> <td>1,364</td> <td>1,487</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>2,620</td> <td>3,108</td> </tr> </tbody> </table> <p>府中北市民病院</p> <p>市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を積極的に実施しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>健診種別</th> <th>受診者数(人)</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック</td> <td></td> <td>81</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td></td> <td>277</td> <td>307</td> </tr> <tr> <td>がん検診</td> <td></td> <td>611</td> <td>581</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>969</td> <td>958</td> </tr> </tbody> </table>	健診種別	受診者数(人)	27年度	28年度	人間ドック		319	312	協会健保等		681	1,076	特定健診		256	233	がん検診		1,364	1,487	合計		2,620	3,108	健診種別	受診者数(人)	27年度	28年度	人間ドック		81	70	特定健診		277	307	がん検診		611	581	合計		969	958	<p>自己評価の理由</p> <p>両病院とも、市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を積極的に実施したため。しかし、健診に関わる医師の業務分限は限られており、健診の受入者数の拡大は困難な状況になっています。健診やリハビリに関する市の事業との連携や、市と両病院がそれぞれ所有している情報を共有するなど、予防医療への効果的な活用ができていないと見えます。しかし、地域住民の健康寿命の延伸の実現にむけては、市の健康地域づくり審議会の長寿サポート分会、いきいき世代づくり分科会に府中市民病院の医師が委員となり、市が作成したデータヘルス計画など、情報提供が図られています。</p>	<p>概要(今後の取組・課題等)</p> <p>市が行う事業において、病院とともに取り組む方が、より効果的なものについては、その事業推進のためにも日常的な連携を図る必要があります。</p>	<p>評価委員会の意見</p>
健診種別	受診者数(人)	27年度	28年度																																												
人間ドック		319	312																																												
協会健保等		681	1,076																																												
特定健診		256	233																																												
がん検診		1,364	1,487																																												
合計		2,620	3,108																																												
健診種別	受診者数(人)	27年度	28年度																																												
人間ドック		81	70																																												
特定健診		277	307																																												
がん検診		611	581																																												
合計		969	958																																												

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容
(3) 救急医療への対応

《平成28年度計画》

公的病院の役割として、地域の医療機関と連携、補完による急性期患者への対応を行います。そのため、日常的に府中地区医師会や所轄消防署と情報交換を行うための仕組みづくりに努めます。

府中市民病院は、福山・府中二次医療圏北部（府中地区）の二次救急中核病院である寺岡記念病院とともに、二次救急輸番制病院として地域の救急医療を担います。府中北市民病院は、救急告示病院として、府中市の北部地域の救急医療を担います。また、法人の両病院は、府中地区医師会が実施する休日当番医制にも参加し、ともに地域の救急医療を担います。府中地区の救急医療体制だけでなく、さらに広域な対応が必要な救急医療については、福山地区の近隣医師会や関係機関との連携を強化し、広域での救急医療体制の維持に努め、その広域体制における両病院の救急機能の役割を果たします。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	3
委員会評価	3	3

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	概要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 府中市民病院は二次救急輸番制病院として、府中地域の急性期患者の受入れを行いました。また、府中市民病院では24時間365日、外科の緊急手術に対応する体制を継続しています。緊急手術は、今年度36件（前年度32件）行いました。府中地区医師会の休日当番医制では、府中市民病院は、診療所と協力し府中地域の当番医減少を補完しています。	法人両病院の連携による府中北市民病院から府中市民病院への紹介患者の外科手術は、今年度18件（昨年度22件）でした。救急機能を維持するための常勤医師の体制が十分とはいえない中、公的病院の役割を担っているため。	日当直や外来診療の時間外に来院する患者に対応するため、常勤医師の業務負担が大きくなっており、医師の負担軽減を図る必要があります。	
府中北市民病院 府中北市民病院は救急告示病院として、上下地域の急性期患者の受入れを行いました。府中地区医師会の休日当番医制では、年間を通じて上下地域の当番医を担当しています。	府中市民病院 救急搬送患者数 時間外患者数 計 うち入院患者数 27年度 319 2,877 3,196 417 28年度 340 2,758 3,098 426		
	府中北市民病院 救急搬送患者数 時間外患者数 計 うち入院患者数 27年度 166 817 983 172 28年度 165 780 945 164		

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(4) へき地医療
《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	3	—

府中市民病院は、へき地医療拠点病院として、久佐・協和両地区での巡回診療の実施をはじめ、過疎化・高齢化が進む地域に暮らす住民の受療機会の確保に、引き続き努めます。
また、法人の両病院は、へき地医療を担う医師や医療従事者の研修及び研究施設を目指します。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見																		
<p>府中市民病院</p> <p>府中市民病院は、へき地医療拠点病院として、過疎化・高齢化が進む地域に暮らす住民の受療機会の確保のため、協和・久佐両地区での巡回診療の実施を継続しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>協和地区</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>受診者数(人)</td> <td>67</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>久佐地区</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>受診者数(人)</td> <td>158</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>府中北市民病院</p> <p>府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、地域医療研修の研修医1名・学生1名の受入れを行いました。</p>	協和地区	27年度	28年度	実施回数	10	12	受診者数(人)	67	78	久佐地区	27年度	28年度	実施回数	10	11	受診者数(人)	158	100	<p>両病院とも、へき地医療を担う病院としての役割を果たしているため。</p>	<p>今年度、1年間の期間限定で、広島県地域医療支援センターから自治医科大学卒業の非常勤医師を招聘しました。両病院が、へき地医療を担う医師や医療従事者の研修及び研究施設になるためにも、引き続き、地域医療を志す医師の招聘に取り組む必要があります。</p>	
協和地区	27年度	28年度																			
実施回数	10	12																			
受診者数(人)	67	78																			
久佐地区	27年度	28年度																			
実施回数	10	11																			
受診者数(人)	158	100																			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 提供する医療の内容
 (5) 災害医療への協力
 《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	3
委員会評価	3	3

災害発生時や感染症の流行時には、市からの要請に基づき必要な医療を提供します。併せて、所轄消防署との連携により定期的に災害等対策訓練を実施するとともに、市の総合防災訓練にも積極的に参加します。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>災害発生時や感染症の流行時には、市からの要請に基づき必要な医療を提供します。今年度は、市からの要請はありませんでした。</p> <p>平成28年10月16日(日)に実施された府中市総合防災訓練に、府中市民病院から医師と看護師が参加しました。</p> <p>広島県看護協会の災害支援ナースとして、今年度新たに1名登録し、合計2名となりました。</p>	<p>計画どおり実施しているため。</p>	<p>府中市総合防災訓練への参加依頼が、訓練実施の直前で定があるもので、今後は、余裕を持って依頼されるよう担当課に連絡しました。</p>	
<p>府中北市民病院</p> <p>災害発生時や感染症の流行時には、市からの要請に基づき必要な医療を提供します。今年度は、市からの要請はありませんでした。</p>			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 病院が担う役割の確立と診療機能の確保

(1) 両病院の将来像の確立

《平成28年度計画》

両病院それぞれの診療圏域において、病院運営を取り巻く情勢や地域の医療ニーズを的確に反映した両病院の将来像を確立し、地域に必要とされる医療を安定して提供します。

その実現に向けては、地域住民や関係機関と共通の認識を持ちながら、計画的に取り組みます。将来像の確立にあたっては、府中市地域医療再生計画で示された、より広い地域の複数の病院と診療所からなる、医療機関全体が役割分担することによって必要とされる医療を提供するという考え方に則り、府中地区医師会の医療機関と連携を図りながら進めます。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	2	—
委員会評価	2	—

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 今年度、市が外部委託により実施した「法人の経営に関する調査・分析業務」に協力するため、病院が所有しているデータを情報提供しました。	今年度末に、市が外部委託により実施した「法人の経営に関する調査・分析業務最終報告書」の提供がありましたが、法人として両病院の将来像を確立するまではいたっていません。	両病院の将来像は、地域包括ケアシステムにおける役割や、市が描くまちの将来像とも関係するため、市と調整を図りつつ、府中地区医師会の医療機関と連携しながら進めます。	
府中北市民病院 今年度、市が外部委託により実施した「法人の経営に関する調査・分析業務」に協力するため、病院が所有しているデータを情報提供しました。			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 病院が担う役割の確立と診療機能の確保

(2) 必要な診療機能の確保

《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	4	—
委員会評価	4	—

両病院は、それぞれの診療圏域における地域包括ケアシステムの構築をふまえ、必要な診療機能の確保に努めます。医療と介護の一体化を充実するために、両病院の将来像の確立と一体的な連携と役割分担により、地域にとつて最も効果的な診療科目の整備に努めます。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>府中市民病院の循環器内科については、平成26年度から福山市民病院の診療支援により外来診療を継続していますが、平成29年1月に岡山大学から循環器専門の常勤医師が1名着任しました。地域に必要な診療機能として、地域住民を支えます。</p>	<p>内科常勤医師の招聘が実現したため。</p>	<p>両病院の将来像の確立と同一様に診療機能の確保にあつても、より広い地域の複数の病院と診療所からなる、医療機関全体の役割分担によつて必要とされる医療を提供するという考え方を基本に、地域にとつて最も効果的な診療科目の整備に努めます。</p>	
<p>府中北市民病院</p> <p>法人として、平成27年度から府中北市民病院の内科常勤医師1名の退職に対応するため、府中市民病院の内科常勤医師を府中北市民病院へ異動し、診療機能を維持・継続しています。</p> <p>また、両病院において、内科や外科の常勤医師がお互いの診療支援を行うなど、医師の連携も継続しています。</p>			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 病院が担う役割の確立と診療機能の確保
(3) ICT技術を活用した地域医療連携

《平成28年度計画》

医療機関や介護サービス事業所等との連携の促進に向けて、その基本連携となる医療連携においてICTの活用を推進します。広域的には、広島県と広島県医師会が構築し運営する「ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）」に参加します。府中地区医師会圏域においては、在宅医療情報共有システムによる地域連携を推進します。

府中市市民病院のHMネットによる医療連携については、特に、診療圏域が近い寺岡記念病院との連携を推進し、府中地区における医療提供体制構築のツールとします。広域的には、HMネットに参加することで、福山地区の医療機関との連携をさらに促進します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	3	—

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市市民病院</p> <p>平成28年6月14日、「ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）」に参加し、情報開示及びHMカード発行病院として、医療連携におけるICTの活用を始めました。</p> <p>病院正面入口の液晶ディスプレイで、HMネットの広報を行っています。</p>	<p>計画を順調に実施しているため。</p> <p>近隣の情報開示医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺岡記念病院 ・中国中央病院 ・福山市民病院 ・日本鋼管福山病院 ・脳神経センター大田記念病院 	<p>現在、画像情報が開示できず、新たな機器整備が必要のため、補助金による財源確保ができません。</p>	<p>ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）の活用等の推進等については、今後できるところから整備を行っていただきたい。</p>
<p>府中市市民病院</p> <p>オーダーリングシステムの更新を控えており、HMネットには参加していません。</p>			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 病院が担う役割の確立と診療機能の確保

(4) 広域的連携体制構築が進められている医療への対応
《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	3
委員会評価	3	2

小児救急医療や周産期医療等、市内に欠けている医療機能で病院単独での再開が困難なものについては、広域的連携体制の構築における両病院の具体的役割を明確にし、その役割を果たします。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 市内に欠けている医療機能の小児救急医療や周産期医療は、病院単独での再開は困難です。 法人としては、非常勤医師による小児科外来の継続と、府中市内で唯一、婦人科の常勤医師が勤務する医療機関として、外来診療と婦人科検診の現状維持に努めています。	現状維持ができているため。 府中市民病院 平成28年度 婦人科外来患者数 2,339 子宮がん検診者数 426 府中北市民病院 平成28年度 婦人科外来患者数 503 子宮がん検診者数 93	府中市内で婦人科検診が実施でき、医療機関は両病院だけであり、今後も健診体制が維持でき、より取り組む必要がありません。	
府中北市民病院 府中市民病院と同様に、非常勤医師による小児科外来の継続と、婦人科を標榜する医療機関として、外来診療と婦人科検診の現状維持に努めています。			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 地域包括ケアシステムの構築
 (1) 地域包括支援センターとの連携
 《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	3	—

両病院が、市の地域包括支援センター（サブセンター）機能（南部日常生活圏域には府中市民病院内には上下保健センター内に設置）との有機的連携を進め、在宅支援機能の一層の強化に努めます。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 高齢者の総合相談窓口として、病院内の同じスペースで、病院の地域医療連携室と市の地域包括支援センター（サブセンター）の職員が業務を行っています。	府中北市民病院では、職員が連携して、新たな取組を行っているため。	府中市民病院では、高齢者の総合相談窓口だけでなく、在宅支援にむけた地域医療連携室と地域包括支援センターの職員の連携がさらに必要です。	
府中北市民病院 地域医療連携室の職員とサブセンターの職員が連携して、他職種研修会の開催、認知症サポーター養成講座、認知症について地域への出前授業を行うなど、上下地域での他職種連携による支援体制づくりに取り組んでいます。			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を

達成するためにとるべき措置

- 3 地域包括ケアシステムの構築
 (2) 「在宅支援システム」構想の推進

《平成28年度計画》

市が平成18年度に策定した「広島県地域ケア体制モデルプラン」を踏まえ、地区医師会、訪問看護ステーションや介護サービス事業所と連携した、高齢者の安心を支える医療・介護の連携体制の実現に向けて、行政とともに具体的な取組を進めます。「在宅支援システム」の具体化により、両病院が緊急時の受け皿となることで、在宅介護者の不安解消に努めます。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	4
委員会評価	3	3

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 府中地区医師会の「地域包括ケア事業多職種連携協議会」に、医療介護連携ワーキンググループが設置され、府中市民病院から社会福祉士1名が委員になりました。今後、現場レベルから、多職種連携体制の有効な方策について協議します。	市が平成18年度に策定した「広島県地域ケア体制モデルプラン」における「在宅支援システム」は、地域包括ケアシステムにつながるものです。「地域包括ケア公開講座in上下」では、市・府中北市民病院・府中地区医師会・介護施設が多職種が発表し、地域包括ケアシステムにおける病院の役割を検討するための起点となった。	両病院が、府中地域及び上下地域での地域包括ケアシステムの構築に向けて推進役となり、医療・介護の連携体制の実現に向けて、行政とともに具体的な取組を始める必要があります。	
府中北市民病院 平成29年3月18日、上下町内で府中市主催、府中北市民病院協力で「地域包括ケア公開講座in上下」が開催されました。			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 地域包括ケアシステムの構築

(3) 医療・介護の総合的なサービス提供

《平成28年度計画》

両病院の医療機能・資源を最大限に活用し、在宅生活を支える医療と介護の総合的サービスの提供に努めます。特に、府中北市民病院では、在宅における医療と介護の総合的サービスの事業として、訪問介護・看護事業所「ささえ」による24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の開始をはじめ、空床となつている病院4階施設を通路、宿泊が可能な介護サービス事業への有効活用を行います。新規事業への投資は、地域に必要なサービス提供のための投資という視点で、事業内容を検討します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	3	—

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 引き続き、府中市民病院居宅介護支援事業所で、在宅での生活を支援するケアプランを作成し、利用者とサービス事業者との連絡調整を行っていきます。	府中北市民病院での新たな事業開始と4階施設の具体的な利用検討に着手したため。	府中北市民病院の建物建築にかかるとは、現在も続いており、未使用となつてい	府中北市民病院4階施設については、住民に役立つような有効活用をお願いしたい。
府中北市民病院 平成28年4月、府中北市民病院では、在宅における医療と介護の総合的サービスの事業として、訪問介護看護事業所「ささえ」を開設し、7月から24時間定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの利用が始まりました。 平成28年度の利用契約者は、9名。 空床となつている病院4階施設の利用を検討するため、同様の空き病床をサービス付き高齢者住宅に転換した公立病院に、市と視察に行きました。		る4階施設の有効活用を早急に決定する必要があると見ます。	

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の積極的かつ計画的な確保
(1) 医育機関をはじめとした関係機関への協力要請

《平成28年度計画》

地域に必要な診療機能の維持、充実に必要な医師の招聘を図るため、病院の魅力を高めるとともに、市との連携・情報共有を密にし、大学病院をはじめ、広島県や広島県地域医療支援センター等の関係機関への協力要請を行います。
また、病院と地域住民が協働して、医師を招聘するための地域の地域づくりに取り組めます。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	3	—

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>今年度、1年間の期間限定で、広島県地域医療支援センターから自治医科大学卒業の非常勤医師を招聘しました。府中市民病院には、月曜日の日勤と当直で勤務していただき、診療をしながら府中地域の医療の現状を見ていただきました。</p> <p>新病院の駐車場、外構工事が全て完了したため、平成28年11月13日、記念式典とグラウンドオープンイベントを開催し、たくさんの方の地域住民に来院していただきました。今後も、病院まつりとして、毎年開催します。</p>	<p>法人の両病院に、広島県地域医療支援センターから自治医科大学卒業の非常勤医師が勤務し、府中市の医療の現状を見ていただくのは、初めての取組のため。</p>	<p>広島県地域医療支援センターの医師の意見を参考にしながら、医師を招聘するための地域づくりや診療機能の検討に取り組む必要があります。</p>	<p>今後も医師の招へいに注力されたい。</p>
<p>府中北市民病院</p> <p>今年度、1年間の期間限定で、広島県地域医療支援センターから自治医科大学卒業の非常勤医師を招聘しました。府中北市民病院には、火曜日の日勤で訪問診療にも勤務していただき、診療をしながら上下地域の医療の現状を見ていただきました。</p>			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の積極的かつ計画的な確保

(2) 臨床研修体制の充実

《平成28年度計画》

地域医療病院コンソーシアム府中として連携を密にしている社会医療法人社団陽正会とともに、地域の病院群としての臨床研修体制の構築を図り、初期臨床研修における地域医療研修の受け入れに努めます。今年度、府中市民病院は、岡山大学病院、福山市民病院、中国中央病院の内科専門医研修プログラムに特別連携施設として登録します。

また、法人の両病院は相互に連携して、総合診療医を目指す医師の研修病院となるよう努めます。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	2	2
委員会評価	2	2

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>府中市民病院は、岡山大学病院、福山市民病院、中国中央病院の内科専門医研修プログラムに、特別連携施設として登録しています。</p> <p>府中北市民病院</p> <p>府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、地域医療研修の研修医1名・学生1名を受け入れました。</p>	<p>地域医療病院コンソーシアム府中として連携を密にしている社会医療法人社団陽正会と、地域の病院群としての臨床研修体制の構築や法人の両病院が連携して、総合診療医を目指す医師の研修病院になるため、具体的な取組が、具体的になっていないため。</p>	<p>目標達成に向けて、引き続き取り組む必要があります。</p>	<p>目に見えるような形としてはまだこれからのようであるので、取組についてもう少し注力し、目標を達成して欲しい。</p>

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の積極的かつ計画的な確保

(3) 看護師養成機関等との連携

《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	4	4
委員会評価	4	3

奨学金制度や両病院の採用情報などについて、看護師養成機関をはじめとした教育機関に積極的に周知します。また、人材の効果的配置を図るとともに、将来にわたって必要な看護師、医療技術者を計画的に採用します。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>近隣の看護学校を訪問し、奨学金制度や両病院の採用情報などを周知しました。</p> <p>府中市民病院は、府中地区医師会看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや学院への講師派遣をしています。「あゆみ」では、福山平成大学、県立広島大学、広島県厚生連尾道看護専門学校、府中地区医師会看護学院の実習生を受け入れています。</p>	<p>平成29年4月1日採用の新卒看護師4名のうち、2名は法人の奨学金貸与者で、この2名を除く年度末時点での奨学金貸与者は3名です。</p> <p>平成24年4月に法人が設立されてから、初めての奨学金貸与者の採用であり、具体的な看護師確保の実績となつたため。</p>	<p>平成29年4月1日採用の奨学金貸与者2名のうち、1名を府中北市民病院に配置しました。今後も法人職員として、両病院に勤務できる職員採用に努める必要があります。</p>	<p>奨学金制度も実績が上がっており、今後も採用予定があることから、目標達成できていると考える。</p> <p>また、地域の准看護師学校の生徒の育成にご協力いただいたしており、よく活動していただいている。</p>
<p>府中北市民病院</p> <p>上下高校を訪問し、看護師等に関心のある生徒を対象に、奨学金制度などを説明しました。</p>			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の積極的かつ計画的な確保
(4) 子育て世代等に配慮した職場環境の整備

《平成28年度計画》

女性や子育て世代の医師又は医療従事者が勤務し続けることができよう、多様な勤務形態に対応する短時間正規雇用制度を導入するなど、魅力ある制度を構築します。また、院内保育所「おひさま」の効率のかつ効果的な運用を市と協議し、さらに院内環境の整備に努めます。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	2	—
委員会評価	2	—

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 院内保育所「おひさま」は市の事業で、業務委託により運営されており、定員8人に対して常時8人が利用する状況です。	多様な勤務形態に対応する短時間正規雇用制度を導入するなど、魅力ある制度の構築にはいたっていないため。また、院内保育所「おひさま」の効率のかつ効果的な運用を市と協議するも、具体的な環境整備ができていないため。	労働契約法改正により、平成30年4月1日以降、臨時職員(5年以上勤務者)の無期契約が義務付けされます。病院事業はマンパワーを特に必要とし、女性や子育て世代の医師や医療従事者だけでなく、経験豊富な人材を確保するためにも、多様な勤務形態に対応する魅力ある制度の構築に取り組みます。	子育て世代に配慮した環境整備による職員確保に向けて、院内保育所の定員増加が必ずである。
府中北市民病院 病院独自の取組は、ありません。		院内保育所「おひさま」の運営について、現状の定員では、子育て世代等に配慮した職場環境の整備とはいえず、引き続き市と協議します。	

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上

《平成28年度計画》

府中市民病院での電子カルテの導入により、HMMネットによる地域の病院、診療所との医療連携や、両病院間の患者情報共有ネットワークの構築に取り組むことで、複数の医療機関が連携して患者を見守る地域づくりを推進します。

病院業務の電子化により、患者の待ち時間短縮等、利便性の向上に努めます。また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設の管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めます。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	4	3
委員会評価	4	3

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>府中市民病院は、駐車場や外構工事の施設設備が全て完成し、広くゆとりのある駐車場には、屋根付きの思いやり駐車場、四季の花を配置した遊歩道や植栽が施され、新築の病棟と相まって、患者の利便性と快適環境が整備されました。</p> <p>HMMネットによる地域の病院・診療所との医療連携は、外来に医療情報参照用のパソコンを配置しています。</p> <p>電子カルテと各部門（検査科、放射線科、内視鏡室、薬剤科、リハビリテーション科、栄養科など）を連携するこ</p> <p>とで、業務の効率化と患者の待ち時間短縮を図りました。</p> <p>府中北市民病院</p>	<p>府中市民病院の建替工事は、市の発注とはいえ、法人による機器の整備や病院職員の電子カルテ化への努力もあり、地域住民にとって、利便性と院内環境を飛躍的に高めることができました。</p>	<p>今後も、利用者意見に耳を傾けながら、さらに快適な施設になるよう努力する必要があります。</p> <p>府中北市民病院は、オランダリングシステム、オランダに導入し、電子カルテ化を視野に入れつつ、患者の利便性と院内環境の快適性の向上を図るための検討が必要です。</p>	<p>業務の効率化などにより、患者の待ち時間短縮などが図られている。これからもサービス向上の努力を続けられたい。</p>

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(2) 患者情報の保護

《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	3	—

個人情報保護に関する法令の定めにより、患者情報の適切な管理・保護については、引き続き厳格に行います。
個人情報保護に関する職員研修会を、年1回開催します。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>電子カルテの導入により、患者情報が電子化されていきます。電子カルテには、職種による機能制限もあり、また、閲覧記録も、職員と情報の特異性があります。今年度は、電子カルテの利用を前提にした「医療従事者における個人情報保護の適切な取扱い」と題して、外部講師による職員研修会を開催しました。</p>	<p>新規導入した電子カルテの利用を前提にした職員研修会を、計画どおり開催したため。</p>	<p>職員の採用や退職があるため、今後も定期的に職員研修会を開催する必要があります。</p>	
<p>府中北市民病院</p> <p>院外で開催された「セキュリティ対策セミナー」に、事務職員と診療技術部の職員が参加しました。</p>			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(3) 職員の接遇向上

《平成28年度計画》

職員の接遇に対する患者の満足度を定期的に把握し、その結果を職員研修に活用することで、患者満足度の向上に努めます。
職員研修は、年2回開催します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	3	—

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>病院の各階に「ご意見箱」を設置してサービス向上委員会 会で内容を協議し、病院としての回答を1階ロビーに掲示 しています。</p> <p>隔月で、院内の接遇委員会を開催して職員研修や毎月の ポストター揭示の内容を協議し、また、サービス向上委員会 と連携しながら院内ラウンドを行い、施設面での改善を提 案しています。</p> <p>今年度は、外部講師による全職員対象の接遇研修を、2 回開催しました。</p>	<p>「ご意見箱」による患者の満足度を 定期的に把握し、毎月のサービス向上 委員会 で情報共有し、病院としての回 答を1階ロビーに掲示することで患者満 足度の向上に努めているため。 また、全職員を対象にした接遇研修 を開催したため。</p>	<p>引き続き、継続して活動を 行います。</p>	
<p>府中北市民病院</p> <p>病院の各階に「ご意見箱」を設置し、サービス向上委員 会で内容を協議し、病院としての回答を1階ロビーに掲示 しています。</p> <p>今年度は、外部講師による全職員対象の接遇研修を、1 回開催しました。</p>			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(4) 医療安全対策の徹底

《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	3
委員会評価	3	3

院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ります。
毎月定例で開催する「医療安全対策委員会」で、職員の共通認識を図ります。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を共有しています。今年度は、4月・11月に延べ4回、職員研修会を開催しました。 毎月定例で開催する「医療安全対策委員会」で、インシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しています。今年度は、8月・10月・12月・1月に延べ7回、職員研修会を開催しました。	院内感染対策及び医療安全対策は、各委員会活動と職員研修会を実施することで、職員の共通認識を図り、医療安全対策の徹底を図っているため。	引き続き、継続して活動を行います。	
府中北市民病院 毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を院内全体で共有しています。今年度は、6月・10月・11月に延べ3回、職員研修会を開催しました。 毎月定例で開催する「医療安全対策委員会」で、インシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しています。今年度は、7月・9月に延べ2回、職員研修会を開催しました。			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(5) 住民への積極的な情報発信と住民啓発

《平成28年度計画》

病院運営に関する地域住民の理解促進と、両病院への親近感を醸成するため、広報紙や電子媒体による病院情報の積極的な発信や、病院施設を活用した地域交流の促進に努めます。地域交流の具体的実施にあたっては、市と連携して取り組みます。これらの情報発信や地域交流は継続したものであるよう、定期的かつ地域のイベントに合わせてなどタイムリーな方法で行います。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	2
委員会評価	3	3

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 今年度は、病院の情報発信として、ホームページのトップに、新規事業の紹介、病院内のイベント、院外での職員の活動など、多様な情報発信に取り組みました。また、病院のFacebookも開設し、情報発信を行っています。11月に行ったグラランドオープンイベントは、毎年「病まつり」として継続します。	法人の広報誌は、目標の2回に対して1回の発行となりましたが、電子媒体(ホームページやFacebook)や病院独自の広報誌を発行するなど、積極的な情報発信に努めたため。 また、府中市民病院ではグラランドオープンイベントの開催や地元鶴飼町の夏祭りに出店、府中北市民病院では上下ひな祭りへの参加や院内でのロビーコンサートへの再開など、地域交流にも取り組み込んだため。	病院の情報発信は、定例で毎月開催しています。今後の委員会では、地域住民に対して、病院のかかり方や病気の自己学習について、どのようになりに情報発信していくのが、大きな課題となっています。	
府中北市民病院 今年度は、病院の情報発信として、ホームページのトップに、新規事業の紹介、病院内のイベント、院外での職員の活動など、多様な情報発信に取り組みました。また、病院のFacebookも開設し、情報発信を行っています。さらに、府中北市民病院独自の広報誌「かわら版」の発行を開始し、院内掲示とロビーでの配布を行っています。院内でのロビーコンサートへの継続や、府中市民病院のグラランドオープンイベントへの参加経験により、新年度は、府中北市民病院でも「病院まつり」を開催し、地域交流を推進します。			

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 5 地域住民とともに守る病院づくり
 (6) 病院ボランティアの育成・受入れ
 《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	3	—

病院ボランティアの育成に努め、その積極的な受入れを進めます。随時、ボランティアの業務内容を再検討するなど、参加・継続しやすい受け入れ体制を検討します。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 病院ボランティアの受入れを開始し、ボランティアの方には、外来患者の多い午前中の参加可能時間で、総院受付での受付案内や、外来から検査への誘導など、病院業務への支援をいただいています。 ボランティア登録者 3名	ボランティアの交代はありますが、継続して参加していただき、ボランティアエユニホームも定着し、患者にも認知されているため。	ボランティア参加者の意見を聴きながら、業務内容を再検討するなど、参加・継続しやすい受入体制を検討する必要があります。	
府中北市民病院 病院ボランティアの受入れは、行っていません。			

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置

1 運営管理体制の確立

《平成28年度計画》

自律的な業務運営の実現に必要な経営戦略機能の充実と、運営管理体制の確立を実現するため、早急に組織改革に取り組みます。また、病院外部からの意見を積極的に業務運営に活かすため、その仕組みづくりに努めます。

今年度は、法人理事に病院事業以外の民間事業経営者を招聘し、理事会の機能強化を図ります。理事会の情報収集を行うことで、その成果を業務運営に反映します。まず、病院長をトップに、経営戦略会議を再編成し、組織的な経営戦略機能を強化します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	4	4
委員会評価	3	2

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>府中市民病院では、平成27年度に設置した経営戦略室を、経営戦略会議に変更し、病院長をトップに事務長・総看護師・総務課長・人事課長・医事課長による会議に再編成し、会議は毎月定例で2回開催することで、組織的な経営戦略機能を強化しました。</p>	<p>病院外部からの意見等を積極的に業務運営に生かすため、今年度、法人理事に、病院事業以外の民間事業経営者を招聘しました。さらに、欠員となっていた府中市民病院からの内部理事に、副院長(院長職務代理)が就任し、理事会の機能強化を図ったため。また、府中市民病院で新しい試みとして、府中市民病院地域活動計画検討会を立ち上げ、継続して会議を開催しているため。</p>	<p>理事会は、第2期中期計画を順調に達成するために、引き続き毎月開催し、法人における点検確認機能としての役割を果たします。</p>	<p>運営管理体制の確立については、次年度に向け更なる検討をしていただきたい。</p>
<p>府中市民病院</p> <p>府中市民病院では、毎月1回の幹部職員による定例院内会議に加え、副院長(院長職務代理)をトップに事務長・総看護師長・地域医療連携室と市の包括支援センター(サブセンター)の職員による府中市民病院地域活動計画検討会を立ち上げました。「ヒトに優しいマチづくり」を目標に、地域のために必要な病院として、地域に必要な活動をを行うため、会議のテーマに合わせ、病院職員・市・地域の介護施設などに参加を呼びかけ協議をしております。</p>			

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 効率的で弾力的な人員配置

《平成28年度計画》

府中・上下両地域の病院機能を守るため、限られた人材を弾力的に配置し、効果的かつ効率的な組織体制を実現します。そのため、両病院の各部署の業務量を適正に評価し、全体として効率化を図るなど、職員配置の見直しを進めます。新規事業においても、地域の医療福祉職を担う人材との連携を図りながら、地域包括ケアシステムへの構築を目標に、人員配置を行います。

また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、主体的に運営を行う組織風土を醸成することで、業務の改善と効率化を図ります。そのための中心的な役割を果たす、法人事務局体制を構築します。また、第1期中期計画期間に達成できなかった、法人事務局職員の法人採用職員への移行を計画的に行います。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	3
委員会評価	3	3

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>地域包括ケア病床(1病棟50床)への転換に向けて、即戦力となる理学療法士を採用し、また、府中北市民病院の地域包括ケア病床(18床)への転換に対応するため、府中市民病院から看護師・理学療法士を異動し、両病院の効果的な職員配置を行いました。</p>	<p>両病院の病床転換に対応するため、効果的な職員配置を行いました。また、法人事務局職員の市の派遣職員から法人採用職員への移行については、今年度1人行ったため。</p>	<p>両病院の各部署の業務量を適正に評価し、全体として効率化を図るなど、職員配置の見直しを進める必要があります。また、第1期中期計画期間に達成できなかった、法人事務局職員の法人採用職員への移行を、引き続き計画的に行います。</p>	
<p>府中北市民病院</p> <p>府中市民病院からの看護師・理学療法士の職員配置により、地域包括ケア病床(18床)への転換、さらに、看護師配置基準を13:1から10:1に上げることができました。</p>			

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

3 職員教育体制の充実

(1) 医師及び医療従事者の専門性及び医療技術の向上支援

《平成28年度計画》

医師及び医療従事者の専門知識及びより高度な医療技術の習得を積極的に支援することで、安全で質の高い医療の提供に努めるとともに、地域に必要な医療人材の定着を図ります。
職員研修費については、各部署で計画的、効果的な予算執行を行います。ただし、必要に応じて柔軟な予算執行を行うことで、地域に必要な医療人材の育成を支援します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	3
委員会評価	3	3

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見												
<p>府中市民病院</p> <p>職員の学会・研修会・発表会等への参加を支援しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>医療技術員</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>事務職員</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>合計(延人数)</td> <td>271</td> </tr> </tbody> </table>	区分	人数	医師	13	看護師	108	医療技術員	121	事務職員	29	合計(延人数)	271	<p>職員研修費については、各部署で計画的、効果的な予算執行を行っています。さらに、当初の予算配分で想定していた新たな業務等に対応するための研修費については、必要に応じて柔軟な予算執行を行っているため。</p>	<p>引き続き、医師及び医療従事者の専門性及び医療技術の向上支援を行います。</p>	
区分	人数														
医師	13														
看護師	108														
医療技術員	121														
事務職員	29														
合計(延人数)	271														
<p>府中北市民病院</p> <p>職員の学会・研修会・発表会等への参加を支援しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>医療技術員</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>事務職員</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>合計(延人数)</td> <td>101</td> </tr> </tbody> </table>	区分	人数	医師	4	看護師	32	医療技術員	24	事務職員	41	合計(延人数)	101			
区分	人数														
医師	4														
看護師	32														
医療技術員	24														
事務職員	41														
合計(延人数)	101														

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

3 職員教育体制の充実

(2) 事務職員の確保・育成と専門知識習得支援

《平成28年度計画》

病院事業の継続性確保に向けた計画的な事務職員の確保に努めるとともに、そのキャリアアップを積極的に支援することで、医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医療事務、経理及び財務などに精通する職員を育成します。

法人の事務職員体制を強化するために、多様な業務研修へ積極的に参加させます。また、医師負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を育成します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	3
委員会評価	3	3

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>事務職員のキャリアアップを積極的に支援し、今年度は医師の負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を3名育成し、嘱託事務職員として勤務しています。</p>	<p>事務職員のキャリアアップを積極的に支援することで、医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医療事務、経理及び財務などに精通する職員を育成しています。</p> <p>医師負担軽減を図るため、府中市民病院で医師事務作業補助者を3名育成したため。</p>	<p>病院事業の継続性確保に向けた計画的な事務職員の確保のために、現状の委託業者による事務部門も含め、事務職全体のキャリアアップを図るための職員体制を構築する必要があります。</p>	
<p>府中北市民病院</p> <p>病院事業の継続性確保に向け、医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医療事務を担当する職員を育成しています。</p> <p>今年度は、医事系の職員が、診療情報管理士の資格の取得をめざして研修を開始しました。</p>			

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 働きやすい職場環境の整備

(1) 働き甲斐を感じることができる仕組みづくり

《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	3
委員会評価	3	2

職員の努力が適切に評価され、業績に反映されるなど、職員のやる気を最大限に引き出し、維持できる仕組みづくりを検討します。昨年度は、府中市民病院の新病院建築や電子カルテの導入など、大きな業務改善があり一時中断した、各部署による「KAIZEN（改善）発表会」を、今年度再開します。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 院長・事務長による各部署のヒアリングを実施し、職場の現状や課題、今後の取組、合わせて機器整備の目的を把握すること、病院として現場の声に応える判断をします。今年度の目標に掲げた、府中市民病院の各部署による「KAIZEN（改善）発表会」は、再開できませんでした。	病院のトップが、直接、各職場の思いを聴く取組ができたため。	現場の声を聴く機会をさらに増やす必要があります。	自己評価に関する記述がわかりにくく、補足説明を受けないとわからぬ。院長・事務長による各部署のヒアリングは今後も続けてもらいたい。
府中北市民病院 副院長（院長職務代理）が、直接、各部署の職員と意見交換を行いながら、病院としての取組を進めています。			

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 働きやすい職場環境の整備

(2) 日常的に業務改善に取り組む職場意識の醸成

《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	4
委員会評価	3	2

組織力の向上に向けて、職員が業務運営の方向性を共有するための多様な手段を検討し、日常的に業務改善に取り組む職場意識を醸成します。理事長の方針、法人の取り組みなどを、幹部会だけでなく、広報委員会による院内広報を定期的に発行し、全職員の共通認識を図ります。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するため、幹部会での報告だけでなく、広報委員会による院内広報「元気でるでる新聞」を発行し、職員に向けての情報を発信しています。 今年度発行回数 2回	一昨年度、両病院で広報委員会を再スタートさせました。今年度は、継続して着実に院内広報に取り組んだため。 特に、府中北市民病院は独自の広報誌「かわら版」を発行し、院外及び院内への積極的な情報発信に努めたため。	組織力の向上に向けては、院内の広報誌を発行するだけでなく、多様な手段を検討する必要があると見られます。	
府中北市民病院 府中北市民病院独自の広報誌「かわら版」を発行し、院外及び院内への積極的な情報発信に努めています。 今年度発行回数 4回			

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
 4 働きやすい職場環境の整備
 (3) 福利厚生の実

《平成28年度計画》

職員の福利厚生の充実や、健康で働き続けるための労働衛生管理に努めます。
 昨年度、法人全職員を対象に実施している「ストレスチェック」によるメンタルヘルスの自己確認や、月1回開催する労働安全衛生委員会で、事業者と職員代表がともに職員の労働衛生管理を進めます。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	3
委員会評価	3	2

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>月1回開催する労働安全衛生委員会で、事業者と職員代表がともに職員の労働衛生管理に努めています。</p> <p>院内保育所「おひさま」は定員8人で、引き続き市の事業として、業務委託により継続されています。</p>	<p>今年度も、法人全職員を対象にした「ストレスチェック」を業務委託により実施し、メンタルヘルスの自己確認を行ったため。</p> <p>対象者 206名 提出済者 186名 (未提出20名) 提出率 90.3%</p>	<p>院内保育所「おひさま」の運営について、定員の拡大を含め、市と協議する必要があります。</p>	
<p>府中北市民病院</p> <p>月1回開催する労働安全衛生委員会で、事業者と職員代表がともに職員の労働衛生管理に努めています。</p>			

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためのべき措置

1 経営基盤の強化による自律した病院運営

《平成28年度計画》

公的な病院としての使命を果たしていくための経営基盤を確保するため、両病院の診療圏域における役割を明確にし、両病院の将来像を確立します。また、業務運営や財務管理の見直しと効率化を図るため、事務局体制と事務部門の業務改革に取り組みます。

第2期中期計画で示したとおり、平成28年度及び平成29年度は赤字予算、平成30年度から黒字予算としていきます。今年度は、赤字予算となりますが、資金計画は黒字を見込んでいます。この予算を年度中途で下方修正することがないよう、目標管理を徹底します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	2
委員会評価	—	2

項目	数値目標	取組結果	達成状況	摘要（今後の取組・課題等）	評価委員会の意見
経常収支比率	96.6%	98.9%	○（2.3%）	法人の経営成績は、2病院の合計で4,038万円の赤字決算となり、経常収支比率98.9%でした。 年度計画の1億2,643万円の赤字予算に対して、市からの繰入金4億5,000万円（当初：4億円、追加：5,000万円）は前年度と同額で、市から5,000万円の追加繰入金もありましたが、年度計画の主な取組を実行することにより、目標を大きく達成しました。	決算については評価するが、追加支援があったから経常収支比率がよくなりませんでしたというのでは胸を張れる話ではない。 また、府中市市民病院の経営状況は厳しいので、しっかりと分析した上で、行政と十分に連携しながら今後の病院運営について協議をされた。
医業収益比率	86.0%	88.3%	○（2.3%）		
給与費比率	71.4%	72.6%	×（▲1.2%）		
医業収益（百万円）	3,147	3,100	×（▲4.7）		
入院収益（百万円）	1,803	1,812	○（9）		
外来収益（百万円）	1,156	1,127	×（▲2.9）		
経常収益に対する市の繰入金比率	11.2%	12.6%	×（▲1.4）		

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するたためとるべき措置

1 経営基盤の強化による自律した病院運営

(1) 予算執行の弾力化

《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	—	—
委員会評価	—	—

地方独立行政法人の経営自由度を最大限に生かし、効率的かつ効果的な病院運営を実現するため、弾力的な予算執行に努めます。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院	特徴的な予算執行はありませんでした。	特徴的な予算執行がなかったため、自己評価はしていません。	
府中北市民病院	特徴的な予算執行はありませんでした。		

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営基盤の強化による自律した病院運営

(2) 収入の確保と支出削減

《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	3
委員会評価	3	3

各種経営指標の目標値を詳細に設定するとともに、その管理を徹底して行うことで、法人が持つ医療資源を効率的かつ効果的に活用し、積極的に収入の確保と支出の削減に努めます。

また、利用頻度の低い施設、設備については、経費の軽減を図るため、積極的に新たな活用策を推進します。

平成28年度の主な取組		自己評価の理由		摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見			
府中市民病院								
毎月、収益目標に対する実績や経営成績を理事会へ報告し、目標管理を行いました。								
	目標	実績	達成状況	各種経営指標の目標に対して、今年度達成できなかった指標もあるが、平成27年度との比較では、府中市民病院の減価償却比率を除く全ての指標が改善されたため。	来年度も、第2期中期計画の達成に向けて、目標管理を徹底します。			
職員給与対医業収益比率	67.5	70.0	×			H27年度	73.2	○
材料費対医業収益比率	16.6	14.7	○			H27年度	17.3	○
薬品費対医業収益比率	9.5	9.1	○			H27年度	10.2	○
経費対医業収益比率	15.6	18.4	×			H27年度	19.2	○
委託料対医業収益比率	7.4	9.2	×			H27年度	10.0	○
減価償却費対医業収益比率	11.4	7.9	○			H27年度	3.0	×
府中北市民病院								
毎月、収益目標に対する実績や経営成績を理事会へ報告し、目標管理を行いました。								
	目標	実績	達成状況	各種経営指標の目標に対して、今年度達成できなかった指標もあるが、平成27年度との比較では、府中市民病院の減価償却比率を除く全ての指標が改善されたため。	来年度も、第2期中期計画の達成に向けて、目標管理を徹底します。			
職員給与対医業収益比率	81.5	79.7	○			H27年度	80.9	○
材料費対医業収益比率	14.5	15.1	×			H27年度	15.6	○
薬品費対医業収益比率	6.5	6.3	○			H27年度	6.9	○
経費対医業収益比率	20.0	19.9	○			H27年度	21.2	○
委託料対医業収益比率	8.7	9.1	×			H27年度	9.4	○
減価償却費対医業収益比率	13.3	12.6	○			H27年度	13.4	○

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
2 市からの財政支援

《平成28年度計画》

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	1	—
委員会評価	—	—

不採算医療など政策的に必要な部門の経費については、市の財政支援を有効に活用するもの、その他の部門での採算性を向上することで、地方独立行政法人の経営原則である独立採算制を確立します。

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>市からの財政支援は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の建設改良費に要する経費 ・へき地医療の確保に要する経費 ・リハビリテーション医療に要する経費 ・救急医療の確保に要する経費 ・高度医療の確保に要する経費 ・保健衛生行政事務に要する経費 ・医師及び看護師等の研究に要する経費 ・共済追加費用の負担に要する経費 ・医師確保対策に要する経費 ・運営費補助 	<p>当初予算における市からの繰入金4億円に加え、年度中途で5,000万円の追加繰入れが必要になったため。</p>	<p>市から追加の財政支援を受けられることなく、第2期中期計画目標を達成する必要がありません。</p>	
<p>府中北市民病院</p> <p>市からの財政支援は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の建設改良費に要する経費 ・へき地医療の確保に要する経費 ・リハビリテーション医療に要する経費 ・救急医療の確保に要する経費 ・高度医療の確保に要する経費 ・保健衛生行政事務に要する経費 ・医師及び看護師等の研究に要する経費 ・共済追加費用の負担に要する経費 ・医師確保対策に要する経費 			

第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置
 1 市の健康福祉関連施策への積極的協力

《平成28年度計画》

公的な病院の使命として、市の健康福祉関連施策に対して積極的に協力します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	3	—

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院 院内保育所「おひさま」で、市が病時保育を開始するにあたり、病院として小児科医師の関わりや看護師による病児の定時観察に協力しました。	両病院とも、公的な病院の使命として、市の健康福祉関連施策に対して積極的に協力しています。		
府中北市民病院 平成29年3月18日、上下町内で府中市主催、府中北市民病院協力の「地域包括ケア公開講座in上下」を開催しました。			

第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置
2 医療機器などの整備

《平成28年度計画》
医療機器の整備と更新については、医療需要、費用対効果や医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	4
委員会評価	3	3

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>投資額 1億428万円 構築物 東エリア外構工事 主な購入機器 電気乾燥機万能プレス・皮膚灌流圧測定装置・ 内視鏡室高周波手術装置など</p>	<p>本年度の投資的経費は、1億562万円 で、府中市民病院の駐車場整備や外構 工事に要した経費です。 府中北市民病院のオーダリングシス テムの更新を今年度見送ったことによ り、施設整備や医療機器整備に係る借 入限度額1億3,700万円に対し、借入実 績は9,000万円に抑えられたため。</p>	<p>第2期中期計画における各 年度の収支計画を達成するよ う、経営成績への影響を精査 し、投資する必要があると判 断しました。</p>	<p>昨年導入した医療機器を しっかり使い、また周知に努 め、収益につなげてもらいた い。</p>
<p>府中北市民病院</p> <p>投資額 134万円 主な購入機器 心電計・薬用冷蔵庫</p>			

第6 予算、収支計画及び資金計画（平成28年度）

《平成28年度計画》

※別紙、市に提出する事業報告書を参照

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	3	—

平成28年度の主な取組 府中市民病院	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>※詳細は、財務諸表及び決算報告書を参照</p> <p>府中市民病院</p> <p>※詳細は、財務諸表及び決算報告書を参照</p>	<p>第2期中期計画における平成28年度の収支計画を達成したため。</p>	<p>平成28年度の収支計画において、計画と実績が大きく乖離した府中市民病院の外来収益については、前年度と医師や診療科の変更がないため、原因分析による今後の対応策が必要です。</p>	<p>病院経営の収支均衡が達成できていない現状を踏まえ、できるだけ健全な経営をめざして欲しい。</p> <p>府中市の人口が4万人を切ろうとしている中で、市立病院が精神科を含めて三つある。行政としっかり協議しながら、今後の方向性、効率的な運営を考えていかなければならない。</p>

第7 短期借入金の限度額

《平成28年度計画》

- (1) 限度額 300百万円
- (2) 想定される短期借入金の発生事由
 - ア 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応
 - イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	3	—
委員会評価	—	—

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院	平成28年12月20日、賞与の支給等による一時的な資金不足に対応するため、市中銀行から1億5,000万円を借り入れ、平成29年3月31日に全額一括返済したため。		
府中北市民病院			

第8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

《平成28年度計画》

なし

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	—	—
委員会評価	—	—

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
<p>府中市民病院</p> <p>該当なし</p>	<p>計画も実績も該当がないため、自己評価は行いません。</p>		
<p>府中北市民病院</p> <p>該当なし</p>			

第9 剰余金の使途

《平成28年度計画》

決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てます。

	平成28年度 (4段階評価)	平成27年度 (5段階評価)
自己評価	—	—
委員会評価	—	—

平成28年度の主な取組	自己評価の理由	摘要(今後の取組・課題等)	評価委員会の意見
府中市民病院	平成28年度決算では、剰余金は発生しなかったため、自己評価は行っていません。		
府中北市民病院			